

政策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	2-6	政策名	健康づくりの推進	政策の 目指す姿	心身ともに健康に暮らしていま す	政策 主管課	健康づくり課	政策主管 課長名	阿部 勇悦
	政策の方針	市民が心身ともに健康に暮らしていくためには、自らが健康づくりに関心を持つとともに、健康や医療など関係機関が連携した総合的な健康づくりの推進が必要です。 そのために、健康に関する意識の向上を図るなど市民の健康づくりを支援するほか、安心して出産や育児ができるよう母子保健を推進します。また、関係機関と連携し、安心して医療が受けられるよう地域医療の充実を図ります。								

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	区分	H27 (基準年度)	H29	H30	R1	R5
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
自分自身が心身ともに健康であると思う市民の割合	自分自身の現在の健康状態を自ら判断し、健康への関心や健康づくりへの意識の高まりを示す指標。増加を目指します。	出典：花巻市(市民アンケート) 問：あなたは、心身ともに健康だと思いますか。 (1)そう思う (2)どちらかというと思う (3)どちらかというと思う (4)そう思わない (5)どちらともいえない (1)(2)と答えた市民の割合	%		目標値	72.2	72.9	73.6	75.0
					実績値	58.7	59.2	59.6	-
					目標値				
					実績値				
達成度	[達成状況に関する背景・要因]								
C	実績値は少しずつ上昇しているものの、目標値には届いていない。 住民向けや職場での健診や医療機関受診などの際に、健康相談や健康指導など市民が健康づくりに取り組むきっかけが提供されることのほか、糖質コントロールやスマホ依存症などメディアによる健康に関する新たな情報が年々増えているなど市民の健康に対する意識が高まり、自分自身が健康であると思う市民の判断要素が具体的かつ多様化していることが実績値が急激には上昇しない要因と考えられる。								

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H27 (基準年度)	H29			H30			R1		前年実績との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値	見込み		
1	健康づくりの支援	食事に気を付けている市民の割合(C-2)	55.2	58.8	59.9	a	60.6	55.6	b	62.4		↘	C
		健康維持のために意識的に運動をしている市民の割合(C-2)	32.5	38.4	31.9	c	40.3	33.9	c	42.2		↗	
		定期的に健康診断などを受けている市民の割合(C-2)	72.2	73.0	74.5	a	73.5	76.1	b	74.0		↗	
2	母子保健の推進	妊婦一般健康診査受診率	98.3	100	98.4	b	100	98.4	b	100		→	B
		乳幼児健康診査受診率	98.7	100	99.2	b	100	99.4	b	100		↗	
3	地域医療の充実	かかりつけ医を持っている市民の割合(C-8)	71.5	76.0	75.7	b	77.0	78.8	a	77.0		↗	C
		かかりつけ歯科医を持っている市民の割合(C-9)	72.3	76.0	72.0	b	77.0	78.0	a	77.0		↗	
		かかりつけ薬剤師を知っている市民の割合(C-10)	-	50.0	36.5	c	55.0	37.9	c	60.0		↗	
4													

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
C-④	総合的に見て、目標値に対する達成度が遅れている状況であるが、市民が心身ともに健康に暮らしてくため、施策の体系に基づいて健康、医療の関係機関が連携した総合的な健康づくりの推進が今後も必要である。 食事に気を付けている市民の割合が減少したものの、他の項目では横ばいから増加となっている。しかしながら目標値を達成できていないことから、各種健康講座の実施や広報はなまきでの健康に関する情報提供、受診率向上のための効果的な受診勧奨など広く健康づくりを周知啓発するほか、特定保健指導や赤ちゃん訪問など直接市民と会う機会を捉えて市民の健康づくりの意識をさらに高めていく必要がある。
遅れている	

成果指標達成度	A				
	B				
	C	☆			
	D				
④ ③ ② ① 政策に対する施策の達成度					

5 政策を構成する施策一覧

施策名	健康づくりの支援	施策の成果指標の達成状況	H29	C	H30	C
1	[課題] ・各種がん検診、成人歯科検診、歯周病予防健診、特定健診の受診率を向上させる必要がある。 ・特定健診の受診結果により、様々な合併症を引き起こす糖尿病の発症を防ぐための特定保健指導の実施率を向上させる必要がある。 ・健康アップ講座や保健大学等の健康講座の機会を捉えて検診に対する意識啓発を行うとともに、未受診者への受診勧奨の強化が必要である。 [今後の方向性] ・特定健診の受診率向上を目指し、未受診者の分析やAIを活用した受診勧奨といった未受診者対策事業を実施する。 ・H30年度に策定した「花巻市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づいた糖尿病及び糖尿病予備軍の重症化予防のための特定保健指導等を行う。 ・生活習慣病予防のため、保健大学、健康アップ講座、食生活改善推進員及び保健推進委員の研修や活動を通して、運動や食生活の見直しによる生活習慣の改善の取り組みを強化する。					
2	[課題] ・特定妊婦(妊婦健康診査未受診、多胎、心身不調等)の認定者数は減少しているものの、複雑・多岐にわたる支援を要する方が多くなってきている [今後の方向性] ・支援を要する妊産婦について、医療機関や産後ケア施設、保健センターとの連携をより密にし、切れ目ない支援を行っていく。					
3	[課題] ・岩手医科大学附属花巻温泉病院が閉院した現在、市民が安心して必要な医療を受けられるため、総合花巻病院が今後、地域医療の中核を担う医療機関となっていく必要がある。 ・病院群輪番制について、令和元年度から病院が一つ減り、当該医療機関からは、現在の輪番制度が実際の救急医療体制と合致しないことが指摘されている ・知度が低いかかりつけ薬剤師をはじめ、病診連携とかかりつけ医などの仕組みについて、更に普及啓発を行う必要がある。 ・医療情報ネットワークの価値を高め、活用が進むよう、施設と住民の参加を更に促進する必要がある。 [今後の方向性] ・総合花巻病院の移転新築整備事業に対する補助金支援のみならず移転整備や病院運営について支援を行っていく。 ・新たな救急医療体制の見直し・再構築に向け、中部保健所や輪番制病院など関係機関と協議をしていく。 ・病診連携とかかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬剤師の仕組みと重要性について、各種健康セミナーや出前講座などで積極的に普及啓発を行っていく。 ・医療情報ネットワークシステムについて、事務局をはじめ中部医療圏域の北上市・遠野市・西和賀町と今後の加入促進に向けた取り組みと事業運営について協議しながら、医師会など関係機関と連携し、出前講座など市民に直接呼びかける方法により周知を図る。					